

2011年12月26日

## 報道関係各位

**大塚メディカルデバイス、革新的な自走式大腸内視鏡技術  
を有するイタリア・Era社へ資本参加し内視鏡事業に参入**

大塚ホールディングス株式会社の100%子会社である大塚メディカルデバイス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:白藤泰司 以下、OMD社)は、Era Endoscopy Srl(本社:イタリア ピサ市、代表者:Mr. Giuliano Gorini 以下、Era社)に資本参加することに合意し、Era社の総発行株式数の24.73%を取得するとともに、Era社製品「ENDOTICS 大腸内視鏡システム」に関する業務提携契約を締結しました。

この業務提携契約により、OMD社は日本における同製品の独占的製造販売権を取得するとともに、その他の地域(イタリアを除く)における商業化についての第一交渉権を取得しました。今後 OMD社は、消化器関連分野を強化し、国内事業に加えアジアを中心とした海外事業の拡大を目指していく所存です。

Era社は、イタリア・ピサにおいて、医療機器の研究開発、製造・販売を行う会社で、ロボット内視鏡研究における長年の研究成果を基に、ピサ大学聖アンナ高等師範学校の研究チームにより2004年に設立されました。「ENDOTICS 大腸内視鏡システム」は、従来の大腸内視鏡の課題を克服する革新的な製品で、「自走式」で「使い捨て」という、既存内視鏡にはない特徴を有しています。

OMD代表取締役社長である白藤は、次のように述べています。「我々は、Era社の革新的な内視鏡を導入することにより、大腸内視鏡検査の簡便化が可能となり、世界的に伸び悩んでいる大腸がん検診の受診機会の増大に寄与することを期待しています。」

Era社代表であるGorini氏は、次のように述べています。「我々は、ユニークな技術によって患者さんのQOL(生活の質)向上に貢献したいという同じ思いを共有し、医療機器事業の拡大を目指す大塚グループとの協働を喜ばしく思います。今回の業務提携によって、より低侵襲性で、より安全性の高い内視鏡手技を世界の患者さんにお届けする機会を得ることができたと思っています。」

OMD 社は、大塚グループにおける医療機器事業を統括し、医療現場の未充足ニーズを満たす、製品の研究・開発、販売を行い、‘Otsuka-people creating new products for better health worldwide’の企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

## 会社概要

### Era Endoscopy S.r.l.

設 立	:	2004年3月29日
資 本 金	:	26,572 ユーロ
代 表 者	:	Giuliano Gorini, CEO/Managing Director
本 社 所 在 地	:	Via Boccioni 1, Peccioli, Pisa, 56037, ITALY
事 業 内 容	:	医療機器の開発設計・製造販売
W e b s i t e		<a href="http://www.endotics.com">www.endotics.com</a>

### 大塚メディカルデバイス株式会社

設 立	:	2011年2月15日
資 本 金	:	20億円
代 表 者	:	代表取締役社長 白藤 泰司 (しらふじ ひろし)
本 社 所 在 地	:	東京都千代田区神田司町二丁目9番地
事 業 内 容	:	大塚グループにおける医療機器事業及びその関連事業を営む会社の事業活動等の統括、並びにそれに附帯関連する一切の事業

## 製品概要

ENDOTICS 大腸内視鏡システム (Endotics Colonoscopy System) :

「ENDOTICS 大腸内視鏡システム」(写真)は、コントローラーの操作で内視鏡自体が伸縮運動を繰り返し、大腸内部を自走するもので、湾曲部をスムーズに進み、これまで既存大腸内視鏡の課題であった大腸壁への圧迫を軽減することが可能となりました。

プローブ部分は、全体が使い捨て(ディスポーザブル)であり、完全に空気圧で動作するよう設計された極めて柔軟性の高いデバイスです。これにより、受診者側の懸念となっている痛みや穿孔の不安や検査による感染リスクが低減されると考えられます。また、術者側にとっても技術習得にかかる期間の短縮、内視鏡の洗浄コストが不要となること等のメリットが期待されます。

## Endotics Colonoscopy System

